

Póvoa de Lanhoso

について



ポヴォア・デ・ラニョーゾ

ポヴォア・デ・ラニョーゾ（Póvoa de Lanhoso）の地域で最も重要な記念碑はモンテ・ド・ピラール（Monte do Pilar）と呼ばれる丘の上に建てられた城で、伝説によると、12世紀にサン・マメーデ（São Mamede）の戦闘が終わった後、ポルトガル初代国王の母親ドナ・テレザ（D. Teresa）がここに投獄されていたと言われています。この戦闘は母と子が敵対して戦ったものでした。17世紀になってノッサ・セニョーラ・ド・ピラール修道院（Mosteiro de Nossa Senhora do Pilar）が城の傍に建てられました。

近くのフォンテ・アルカーダ（Fonte Arcada）村には、12世紀のロマネスク様式の教会があり、一見の価値があります。

ポヴォア・デ・ラニョーゾはヴィーニョ・ヴェルデ・ワイン生産地区の中心部にあり、花崗岩の採石や石切り産業、および素晴らしい金細工職人の技（金線細工）で有名です。